

必ず日本一をつかみ取る

全国消防操法大会へ出場する神代第1分団



▲壮行会で力強く拳をかがけ健闘を誓う団員たち

市消防団の神代第1分団が8月5日に行われた兵庫県消防操法大会でみごと優勝し、10月7日の全国大会へと駒を進めました。市役所中央庁舎で8月27日、神代第1分団の壮行会が行われました。

神代地区選任分団長の村本明義さんは「強豪チームひしめく激戦区兵庫県を制し、次は『全国制覇』と団員一同闘志を燃やし、もつともつと強くなるためにこれから約一か月の訓練に取り組みます。『消防の甲子園』である全国消防操法大会では『闘う志士集団』を旗印に、南あわじ市消防団の名を全国に轟かせ、兵庫県下消防団員の熱い思いを胸に、必ず日本一をつかみ取ります」と話しました。

防災意識を高めるために



▲大声コンテストで叫ぶ参加者

福良港津波防災ステーション「うずまる」において9月9日、福良うずまるフェスタが開催されました。津波防災ステーションを、より多くの人に利用してもらええる施設にする



▲なでしこ分団による救命講習

福良うずまるフェスタ

することを目的としており、今回で3回目になります。和太鼓「美鼓音」やちどり保育所の園児たちによるステージのほか、福良の街中を歩きながら避難路などを確認する福良路地裏探訪、市消防団のなでしこ分団によるAEDを使用した救命講習など、防災に関する様々なイベントが行われました。

津波による犠牲者ゼロを目指して

福良地区夜間避難訓練実施

紀伊水道で大地震が発生し、淡路島南部に大津波警報が発令されたとの想定で防災の日にあたる9月1日、福良地区で初めての夜間避難訓練が実施されました。

避難できるかを検証しました。午後7時30分、宅内告知端末、屋外スピーカーおよびサイレンで訓練開始が告げられ、防災セットが入ったリュックを背負い、懐中電灯を手にした住民たちが避難。当日参加した約1000人の住民たちは無事、時間内に到着しました。



▲夜間訓練に参加して福良小学校に避難した住民たち

これから長生きしてほしい

ふるさと納税



▲中田市長からお祝い状を受け取る水引春江さん

市内在住の高齢者23人（男性4人、女性19人）が今年度（福良）の自宅では、中田市長が「これから健康に気を付けて長生きしてください」と伝え、水引さんは「これからは元気に過ごしたい」と話しました。

ふるさと南あわじ応援寄附金

区分	件数	金額
南あわじ市内	413件	57,574,719円
市外(島内)	56件	9,341,000円
市外(島外)	252件	29,924,940円
合計	721件	96,840,659円

詳細は市のホームページに掲載しています

津波防災フォーラム2012が開催



▲公開討論会で左から、宇田川真之さん、田辺市文里自主防災会の名越隆行さん、元県立淡路高校教諭の森 康成さん、福良地区自治会副会長の村野保司さん、福良小学校教諭の大塚昭宏さん

福良うずまるフェスタが行われた9月9日午後、南淡公民館では「津波防災フォーラム」が開催されました。人と防災未来センター（神戸市）主任研究員の宇田川真之さんによる基調講演のあと、地元自治会や学校関係者、和歌山県田辺市文里自主防災会

ふれあい市長室

南海トラフ地震 内閣府が地震被害想定を発表

南あわじ市長 中田勝久

8月29日、内閣府から南海トラフで想定される最大の地震が発生した場合、南あわじ市では「震度7」、「1mの津波が約39分後に到達し、その後「最大9mの津波」が襲来する」という想定結果が公表されました。

先月の9月1日、福良地区において兵庫県内では初めての試みで夜間の避難訓練を実施していただきました。

この想定結果につきましては、発生しうる最大クラスの地震・津波を推計したもので、次に発生する地震・津波の予想ではありません。

福良地区の地域で定めた一時避難場所へ避難する訓練でしたが、参加者の方々はそれぞれ非常持出し品をリュックに入れ約1000人の方々が参加されました。これも地域の方々の防災意識の高まりの表れと思っております。

兵庫県においては、詳細に再度検証し、市内の津波による予想浸水区域を推計します。南あわじ市はその結果を基に津波ハザードマップ（津波による浸水区域及び浸水深）の作成や地域防災計画の修正に取り掛かり、市民の皆様方に早急に公表するよう考えております。

南あわじ市としては、今回の発表を受け早急に避難路の整備をはじめ防災対策をこれまで以上に積極的に進めてまいります。次に、8月5日兵庫県消防学校で県消防操法大会が開催され、ポンプ車の部で神代第1分団が優勝、小型ポンプの部で賀集第1分団第1部が第3位という素晴らしい成績を収められました。神代第1分団は10月7日東京臨海広域防災拠点において全国大会に出場することになっております。

市民の皆様方には、地震が発生すれば、何よりも「いち早く高台へ逃げる」、「逃げる時は周囲の方々に大きな声をかけながら避難を促す」、「率先避難者として、躊躇している方が早く避難行動ができるよう日頃からお互い心がけていただきたいと思います。

日頃の消防団の活動と大会出場への訓練に感謝と敬意を表します。好成績を期待いたします。